

# “知ること、味わうこと、生きること”

浅虫でつがく対話は、青森の“ランドマーク”のひとつ“浅虫”の地に“子どもから大人まで、ともに参加できる対話の場所をつくり、探究的な対話の可能性を探ろう、というワークショップの試みです。”哲学、という対話による探究の方法は、古代ギリシャが発祥です。そして現在では、フランスから世界各地に広がった“哲学カフェ、という活動が知られています。浅虫のカフェ《アプリコット》に対話の場所をおかりして、コーヒーを片手に知の探求をくり広げてみましょう。ことしのテーマは“知ること、味わうこと、生きること”です。お互いに問いかけ、言葉を交わすことは楽しい！ふだんは通り過ぎてしまう素朴で大切な“問い”について、ことあらためてじっくり考える機会となること、知の萌芽が生まれることを目指します。

講師：青森公立大学 准教授 大森 史博

前回の様子



【対象】子どもから大人まで  
【定員】各20名程度 先着順

参加無料

## 申込方法

kouza2025@mat.nebuta.ac.jp宛にメールを送信

件名：浅虫でつがく対話 申込

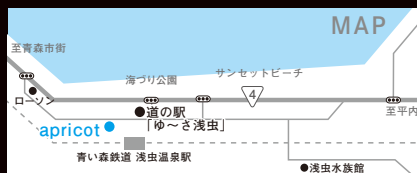
本文：氏名(ふりがな)・職業または学校名(学年)・住所・

電話番号・参加希望日を記載してメール送信をお願いします。

※お申込みの方に受講の可否をメールまたは電話で連絡します。

※お申込みいただいた個人情報は、今回の公開講座に関する目的以外での使用並びに第三者への提供は行いません。

主催／青森公立大学 <https://www.nebuta.ac.jp> 共催／浅虫まちづくり協議会 協力／浅虫町会  
お問い合わせ 青森公立大学地域連携センター TEL 017-764-1589 (平日8:30～17:00)



青森公立大学 公開講座 浅虫

公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業  
青森公立大学 公開講座 2025

# 浅虫でつがく対話

知ること。

味わうこと。

生きること。

秋の部 2025

11/16 日

13:00-15:00

【事前申込 11/11(火)まで】

冬の部

12/7 日

13:00-15:00

【事前申込 12/2(火)まで】

会場 apricot (青森市浅虫)

※飲物はお店に注文をお願いします。

子どもから大人まで参加歓迎

# 浅虫てつがく対話

会場  
apricot (青森市浅虫)

※飲物はお店に注文をお願いします。  
子どもから大人まで参加歓迎



公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業

青森公立大学 公開講座 2025

知ること。

味わうこと。

生きること。



秋の部 2025

11/16 日

13:00-15:00

| 事前申込 11/11(火)まで |

哲学対話ってどんなこと？

思考の運動について

哲学対話(てつがくたいわ)の入門です。何かを理解するためには、二つの方法があります。その一つは理論で、もう一つは実践です。つまり、説明を聞いて理解すること、そして実さいにやってみることです。哲学対話は、もちろん言葉をつかった探究なのですが、実さいにやってみなければ分からないことがあります。そこで「哲学、とは何でしょうか?」「対話、とは何でしょうか?」このように問いかけるとき思考が動き始めます。実さいに「問いかける。ことから哲学が始まります。」

対話のなかにある焦点になる話題を「トピック」といいますが、それは対話をおこなう場所「トボス」のことでもあります。哲学を学びはじめた学生たちと一緒に、対話の場所に飛び込んでみましょう。とくべつな知識は必要ありません。ひとつのテーマに対しても、さまざまな方向から問いかけることができます。自分の問いを投げかけてみましょう。

冬の部

12/7 日

13:00-15:00

| 事前申込 12/2(火)まで |

見ることを学びなおす?

子どものような問いかけについて

この季節になると毎年、世界中で読み返されている一冊の絵本があります。新聞の社説を元にしたその絵本は「サンタクロースっているんでしょうか?」と私たちに問いかけています。もう答えは明らかですか? いまでもサンタクロースは来てくれるのでしょうか? フランスの作家、サン＝テグジュペリは『星の王子さま』に登場するキツネに、ちょっとした哲学の秘技を語らせています。「心でなくちゃよく見えない。大切なものは目には見えないんだ。」ここには、なかなか面白い謎が隠されています。なぜなら、「心。こそが「見えないもの。のひとつなのだし、そうしたものがまったく見えないと言われているのではないからです。」

じつは、私たちは「見えないもの。をつかまえる装置を身につけています。それは、私たちが生きているあいだずっと、それと関わり暮らしている「言葉。です。私たちが使っている「言葉」は「心を通わせるための言葉。をつかって話をしているわけです。」

いつもの世界がちがって見える。それはどういうことか?

申込方法 kouza2025@mat.nebuta.ac.jp 宛にメールを送信

件名: 浅虫てつがく対話申込

本文: 氏名(ふりがな)・職業または学校名(学年)・住所・

電話番号・参加希望日を記載してメール送信をお願いします。

※お申込みの方に受講の可否をメールまたは電話で連絡します。

※お申込みいただいた個人情報は、今回の公開講座に関する目的以外での使用並びに第三者への提供は行いません。

【対象】 子どもから大人まで

【定員】 各20名程度 先着順

参加無料

青森公立大学 公開講座

検索

主催/青森公立大学 <https://www.nebuta.ac.jp>

共催/浅虫まちづくり協議会 協力/浅虫町会

お問い合わせ 青森公立大学地域連携センター

TEL 017-764-1589 (平日8:30~17:00)

